

計報

杉仁さんが、二〇一二年一月二十七日、信州の上山田温泉で急逝されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

杉さんは、本研究会の初回からほとんど休まずにご参加下さいました（七〇回のうちお休みになったのは五回程、だつたと思います）。研究会では、長年の研究の蓄積と豊富な実地踏査の体験を踏まえて報告者にアドバイスをしてくださりました。そして自らも、ほぼ毎年報告を志願され、刺激的な報告をして下さいました。また、本雑誌にも毎年寄稿下さるとともに、フィールドワークの企画をいくつもご提案下さりました。杉さんと御一緒に上州や信州を歩いたことを懐かしく思い出します。このように、杉さんの本研究会へのご貢献は計り知れません。

次の一三号では、あらためて、杉さんが本研究会に遺された足跡をたどり、書物研究について考えたいと思います。

呼びかけ人・若尾政希

印刷所からの初校ゲラを点検中、悲しい知らせが入ってきました。急遽、呼びかけ人をお願いして、右の一文を追加

した次第です。毎回おこなわれる自己紹介で背筋を伸ばして、「杉仁と申します。やっっていることは、農村・山村・漁村の文化、在村文化……」という前置きで話される内容は、いつも充実していました。なによりも研究が楽しげでした。あの杉さん節をもう聞くことができないのが信じられません。次号で杉さんを偲びたいと思います。

（編集幹事）